

市民ネットワーク 議会通信

2015年
千葉市議会第1回定例会
2月16日～3月5日



2015年度(新年度)予算 / 一般会計3,902億円 特別会計4,659億円 合計8,561億円

種まきから芽生え予算へ！何を残し、何を間引くかが課題

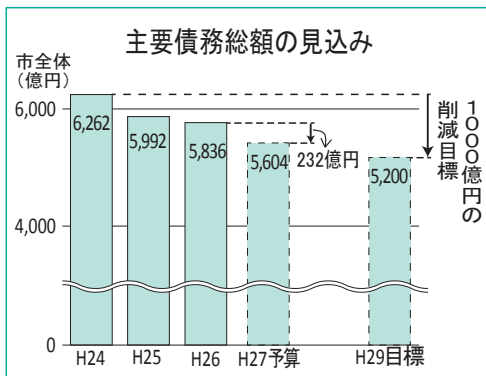
過去最大規模となった新年度予算。市長は今年度を「種まき予算」、新年度を「芽生え予算」と表現しました。すなわち2014年度は「都市アイデンティティ」「JR千葉駅周辺の活性化」「海辺の活性化」の素案作りに向けての基礎的調査が行われ、具体の取り組みが2015年度から始まる(芽生える)というわけです。

千葉駅周辺や海辺の長期的展望の中で必要となる事業とのバランスも考え、芽生えたものをすべて残すのか、間引くものはないか精査しながら、一時に巨額な支出とならないよう組み立てていく必要があります。

ただし、財政健全化プランで示された、主要債務総額(主な借金)をプラン期間中に約1,000億円程度削減する目標に向けては新年度予算案に

おいて約232億円の削減が見込まれるなど、プラン目標達成に向け健全化路線の上を着実に走っていると評価しました。

市民ネットワークとしては千葉駅西口再開発事業について反対し(右参照)その他の予算案には賛成。新年度予算は成立しました。



<新年度予算の中で評価できる事業>

- ★ 町内自治会防犯街灯のLED化(一括リース契約)
- ★ 性暴力被害者支援センター活動支援
- ★ 里親委託の推進: 里親支援関係団体育成
- ◆ 虐待予防: 乳幼児健診未受診家庭の訪問体制強化
- ★ 剪定枝等循環システムモデル事業実施
- ★ 地域と連携した空き家有効活用に関する調査
- ★ 自転車駐車場利用料金のコンビニ納付導入
- ◆ スクールソーシャルワーカー増員 2人⇒4人

★・・・新規 ◆・・・拡充



千葉駅西口地区にB棟ビルを建設しようとする市街地再開発事業特別会計に反対

63億円という莫大な費用をかけ取得したB棟建設予定地だが、借地料を取り固定資産税をあげても回収には何十年もかかる。そんな回収の仕方を考えるのではなく、その財産をいかに使うのか、駅前という貴重な土地を、どんな使い方をすれば地域全体にとって有効なのか、市民にとって有益なのか再検討が必要だ。

山田 京子

一般質問から

湯浅 美和子

声を上げにくい人々ほど 寄り添う施策が必要

—主な質問と答弁から—

問 性的マイノリティの子どもと親への支援策は?

答 管理職教員対象の研修は実施している

➔ 教員全員に研修を実施してほしい

答 性的マイノリティの子どもがいるとわかった場合、関係職員が協力して相談に応じている

➔ 相談後の受け皿を作ってほしい(親同士の交流など)

問 高齢者の外出支援のため、駅ロータリーやバス停にベンチが必要では?

答 関係部局が連携して検討し、交通事業者とも協議する必要あり

➔ 他市の先進例も参考に、ベンチの設置を進めてほしい

問 障がい者が参加しやすい選挙のための改善策は?

答 4月の選挙から投票用紙の枠を太くし、候補者一人あたりの選挙公報の枠を2倍にする。選管ホームページに音声化した選挙のお知らせを掲載 ➔ 今後も当事者の声を聴き改善してほしい

市民の力、地域の力と市の魅力を活かしたまちづくり

・地域運営委員会など地域の自治を進める動きは歓迎するが、市民をボランティアという名のもとに安く使い倒すことなく、あくまでも対等な立場での協働を。

・「美浜区の海辺」だけでなく、これまで県や企業庁が担ってきたものを、今後、市がイニシアティブをとって引き受けることも、必要。その際は市民と充分議論を尽くすこと!

男女共同参画社会に向けて

・市男性職員の育児休業取得率は24年度1.7%、25年度2.2%、26年度3.3%(地方公務員全国平均1.5%)と少しずつ上昇、また部分休業も増加。より育児に関わるような子育て支援計画を検討中、とのこと。さらに取得しやすい柔軟な制度を!

・今の政策決定の場は、あまりにも一方の性に偏っている。ようやく千葉市でも2025年までに管理職の女性比率30%達成を目指し、プロジェクトチーム編成を検討中!